



早いもので、私がガバナーを拝命して以来12年が経過いたしました。ガバナー拝命時のRI会長はジェームス・L・レイシー氏で、その年のテーマは「ロータリーの夢を追い続けよう」でした。思い出されるのは、国際協議会でのレイシー会長の基調講演です。

舞台中央の大スクリーンに、宇宙から見た地球が映し出され、「限りない暗闇の中に輝いている青い宝石、これが私たちの住む世界です」と語り始められました。

「私たちの世界には、荘厳な山々、畏敬の念を呼び起こす海原、素晴らしい森林、広大な砂漠、堂々たる大河、澄んだ小川が有ります。大きな都市、小さな町、村、遙かな農場、そして私たちの住む家々が有ります。これが1998年の今日の、私たちの世界です。しかし、この世界は急速に変化しているのです。果たして私たちの子供の時代に、世界はどのように変貌しているのか、首をかしげたくになります……」

レイシー会長がこのとき語られたのは、言うまでもなく深刻化する地球環境問題であり、私たちの次の世代が大人になる頃の世界への、危惧であります。しかし一方で、国際ロータリーは次代を担う若者たちの可能性を信

じており、彼らに大きな夢と希望を持っています。そして、次世代の若者たちがより良く成長するのを支援することも、国際ロータリーの役目の一つであります。

2010年4月規定審議会が開催された結果、従来の四大奉仕部門(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕)に加えて、「新世代奉仕」が第五の奉仕部門として設置されることになりました。

ロータリーの新世代奉仕プログラムは、30歳までの若者たちの育成支援が目的であり、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者育成プログラム(RYLA)、ロータリー青少年交換などで構成されていますが、各プログラムの実施にあたっては、財団奨学生、学友、米山奨学生に対する配慮も怠らないよう、きめ細かい配慮も必要です。

国際ロータリーの奉仕活動の多くが、新世代に関連していることは、しばしば指摘されるところです。その意味で、私たちは活動の重要性をより一層認識するとともに、新世代の若者たちの知恵と行動力を信じ、その成長を支援するあらゆる機会をとらえて、各クラブが本年も実りある活動を展開されるよう期待いたしております。